

人との関係を深める言葉

奈良市立富雄第三中学校 1年 藤原 良樹

ぼくは、あまり話すのが得意ではありません。なぜなら、何気ない僕の一言でその場の空気を悪くしてしまった経験があるからです。また、僕は批判的な言葉に敏感で、少しの批判的な言葉で心が苦しくなってしまうため、人との会話で適切な言葉選びに悩んでしまい、しんとした時間が流れてしまうこともあります。このような経験から、言葉を上手に使うことで、人との関わり方が上手になると僕は考えています。

人と会話をするうえで一番僕が気をつけていることは、人の命を侮辱するような言葉を言わないということです。僕のクラスでも「死ね」などの言葉が耳に入ることがあります。そんな言葉を簡単に口にしてしまうのは、僕たちの身の回りでは死の危険がないからだと思っています。前から僕は「死ね」などの言葉を絶対に言わないと決めていましたが、広島原爆資料館に行ったときに見た、生きたくても生きられない人を見て、命の尊さをと、死ぬことの重みを知り、「死ね」という言葉の重みを更に深く理解しました。また、「死ね」という言葉を言ってしまうと、言った本人の思っている以上に言われた相手は深く傷を負ってしまい、それを聞いた周りの人の距離も遠ざかってしまいます。なので人の命を侮辱するような言葉は人との関係をとても遠ざけてしまうのです。

ですが、人と会話をするうえで大切にすべきことは、人の命を侮辱するような言葉を使わないことだけではなく、それは、ありがとう、ごめんなさい、などの小さな言葉の積み重ねを普段から心がけていくということです。なぜこの言葉を大切にしたいのかというと、教室で友達とすれ違ったとき、足がぶつかってしまい、自分の言った「ごめんなさい」を無視されてしまったときは、少し相手との心の距離が遠ざかってしまったという経験があるからです。なので、普段からありがとう、ごめんなさいなどを言えない人は徐々にその人のよくない印象になってしまい、距離を取られてしまう理由も、本人が気づきにくいからです。

そして、人との関係を深めていくことは、言葉の数の多さだけではなく、なぜなら、たくさん話をする人でも、話の内容が否定的になってしまっていると、その人と進んで会話をしようと思わないからです。例えば、僕が図工をしていたときに、手をすべらせてしまい、作品が思っていたものと違ったときに、「これも十分上手だよ」と言ってくれたことが、僕にとってすごく励みになったからです。つまり、普段からあまり話をしない人でも、一言一言、相手に良い思いを込めて話をすれば、人との関係がとても深くなるということです。

このように、人と関わるうえで、言葉は必要不可欠なものです。そのため、言葉一つ一つが相手との距離になります。なので、これからは、言葉の大切さを見直し、人と話すときは話す言葉をしっかり丁寧に考えてから、話すように心がけていくと、会話だけではなく、人との関わり方がもっと上手になります。さらに、あなたが普段から、どんなときでも言っていきたいことや、言ってはいけないこと、大切にしたい言葉を決めて生活を送れば人との関係が今よりぐっと近くなるかもしれません。これらのことから、人と会話をするときは人との関係を更に深める機会なのでこれからは更に言葉の重要性を見直して生活をしてほしいです。